

# 6月末組織人数 5,083人

何気ない会話でもいいので  
話すことから始めましょう。

# 建 労 い わ て 月 刊 号

発行所  
岩手県建設労働組合連合会  
教 宣 部  
盛岡市本宮一丁目7番27号  
電話 019-631-3280  
FAX 019-635-4015  
発行者 藤井泰男

## 更なる発展を誓う 岩手県連青年部第42回定期大会



団結ガンバロウでさらなる発展を誓いこぶしを掲げた



現在の最速記録15.0秒を更新することが出来るか

岩手県連青年部第42回定期大会が6月13日から14日に、一関市のホテルサンルーに、一関を会場に、12組合32名の参加で開催されました。来賓に県南ブロックの高橋副会長と地元一関建設組合の小野寺組合長を招き、基本組合の情勢報告や青年部に対して激励の言葉を頂きました。

照井青年部長（遠野）は「青年部長が不在の組合もあり、後継者育成が急務だ。これからの青年部活動を活発にしていくためにも、実りある大会にしましょう」と挨拶。経過報告、決算報告が原案通り承認され、42年度の運動方針案、予算案提案が行われました。

その後、現在では希少な木造づくりの旧一関市立達古袋小学校（以下学校）を、実際に現地で視察しました。学校の大きな特徴は長さ119m一直線の廊下です。実際に目の当たりにすると、一様に「なげー」と感嘆の声が上がりました。

NPO一関のなかなか遺産を考える会の阿部事務局長より「3年前に閉校となり、校舎の半分を解体する予定となっていた。しかし景観の素晴らしさを後世に残していく為、校舎を利用した活動を行い、解体することなく残すことになった」と保存活動の経緯について説明がありました。

この校舎で行われている、長い廊下を利用した80mの雑巾がけ競争に挑戦。組合対抗のタイムトライアルには12名が参加。小原慎也さん（金ヶ崎）が、18.2秒の好タイムで優勝を飾りました。

実際に挑戦した人は「大人になってから雑巾がけをやるとは思わなかった。足が思い通りに動かず、歩けない」と日頃の運動不足を痛感しているようでした。2日目は4つの分科会に分かれ、各組合の青年部の取り組み報告や活動の悩み、組合事業に対する要望が活発に出されました。組織拡大についても「PTAで同業者と知り合い、組合へ加入してもらった」と、青年層ならではの拡大経験も報告されました。

今大会の役員改選では、照井さんが青年部長に再任され、「よく働き、よく学び、よく遊ぶ県連青年部にしていきたいと思います」と力強い抱負が述べられました。最後に大会スローガンが採択され、団結ガンバロウで、県連青年部の更なる発展を誓い合いました。

高校生が集団のいじめにあって、死亡した事件が報道された。顔・体には大きな「あざ」があったそうだ。今の子供達は「痛み」を知らない人が多いと思う。どの位殴ったら死亡するかわからない。ケンカもどちらかが「ちよっかい」を出すと大事になる。現在、日本も中国・韓国など近隣諸国から領土問題で批判されている事に対して、まるで「武力の力」でこれに 대응しようとしている感じを受ける。今国会で、国民が最も関心を持たなければならぬ法案が議論されている。安倍首相を含め、国会議員の方々は「戦争を知らない子供達」で育ってきた。あの東日本大震災の復興・復旧を行った自衛隊員を、戦場に送り出す訳にはいかない。戦争には必ず命を失う結果と、テロリストの標的も受けます。「戦争をする国づくり」法案には、法律学者や元自民党長老議員も「違憲である」と反対意見を述べている。70年争いの無い国が、戦争の道を開くことが無い様「命」の大切さを考えて、話し合いで解決してほしいものだ。

【県連 中川記】

### きずな

- |            |           |
|------------|-----------|
| 岩手県連青年部 三役 |           |
| 部長         | 照井 幸治（遠野） |
| 副部長        | 近藤 貴志（盛岡） |
| 副部長        | 鈴木 藤良（一関） |
| 副部長        | 岩洞 尚史（釜石） |
| 書記長        | 小原 康信（北上） |

【県連会長 齋藤徳重】